

基本理念	第3回以降に意見を伺い、第4回時に素案を諮る
------	------------------------

アンケートやヒアリングをもとにして、市の総合計画にも沿った「基本的な目標」となる言葉です。

市でアンケート調査を行った時に必要性や要望の高かった項目を拾い出しています。＜市が記入＞
(アンケート 設問番号)―(設問内の項目上位)71

住民座談会(ヒアリング)、事業所アンケートでの市民の声の代表的な部分を抜き出しています
＜社協が記入＞

基本目標①（案）	概要【つかむ・伝える・交わる・つながる】	施策の推進（案）	アンケート結果から、 取組が必要と思われる要素	住民座談会、事業所アンケートからまとめた主な取組課題
【2修正】誰もが相談でき、地域とつながるまちづくり	・我が事として関心を持ち、孤立や困りごと、SOSに早く気づき、支援につなげる地域づくり 【3拡充】	（1）相談体制やサービスなど、必要な情報が届き、相談につながりやすい仕組みづくり 【5拡充】	12-⑥社会福祉協議会 ⑥市役所の相談窓口 14-③悩みごとの相談相手 15-④悩みごとの相談相手 39-①相談しやすい窓口の充実 中高9-④悩みごとの相談相手 中高13-①どんな問題でも相談できるところがある 中高14-①相談しやすい窓口の充実 22-①市の広報誌やHP 29-③いろいろな相談先の情報の提供 39地域福祉に関する情報提供や制度案内の充実	・敷居の低い相談しやすい窓口や方法（SNS等の活用） ・困っている人に声かけをする地域 ・隣人等の異変に気づき支援機関につなげる ・町内で対応できない相談のつなげ方 ・わかりやすい情報発信 ・暮らしの便利帳福祉版（仮）をつくる⇒⇒「困った時のみちしるべ」作成（R7） ・情報を得るための意識づくり（情報を教え合う関係性） など
	・感染症等の影響も踏まえ、対面・非対面を組み合わせ、つながりを絶やさない地域づくり。			
	・相談に来られない人、声を上げにくい人に寄り添うアウトリーチ支援の推進 【4追加】			
	・必要な情報が必要な人に届き、相談や支援につながるしくみづくり 【5拡充】	（2）誰もが安心して集える居場所・交流拠点づくりの推進 【6拡充】	30行政と地域が対等な立場で協力しながら行う	・多世代が関われるような居場所（空き家等の多種多様な活用）づくり ・地域行事や福祉行事等への参加・参画（特に若い世代も） ・地域貢献しやすい仕組みづくり ・住民同士がつながれる交流の場における支え合いの仕組みづくり など
	・世代や属性を超えて、誰もが安心して参加できる居場所・交流拠点づくり 【6拡充】			
	・複合的な課題に対応する多機関による重層的連携体制の強化 【7拡充】	（3）複合的な課題に対応する多機関による重層的連携体制の強化 【7拡充】	31どんな問題でも相談できるところ 16家庭の中にひきこもりがちな人がある 19家庭の中にヤングケアラーがいる 中高14ひきこもり、8050問題に対する支援 39様々な生活課題を抱える住民を支援するための関係機関の連携	・多職種・異業種の活動の見える化、連携体制の構築 ・行政の横断的な連携、官民連携（情報共有、空き家対策等） ・各団体による情報交換会・研修会の実施 ・関係者が一体となった「ケース会議」等体制の構築 など
		（4）孤立を防ぎ、支援につなげる仕組みと伴走型支援を追加 【8追加・再編】	16家庭の中にひきこもりがちな人がある 19家庭の中にヤングケアラーがいる 中高14ひきこもり、8050問題に対する支援	・声を上げられない人への支援 ・ヤングケアラー世帯への支援、学校との連携 ・大人のひきこもり ・ひきこもり等生きづらさを抱える人への支援強化（基本目標④から移動）など
基本目標②（案）	概要【支える】	施策の推進（案）	アンケート結果から、 取組が必要と思われる要素	住民座談会、事業所アンケートからまとめた主な取組課題
【9修正】健康で安心して自分らしく暮らし続けられるまちづくり	・日頃からの見守り・声かけ・支えあいを高め、災害時にもそのまま活かせる地域づくり（フェースフリー） 【11拡充】	（1）地域の支え合いによる生活支援と各種サービスの充実と利用促進 【10拡充】	14-①安否確認の声掛け 15-③雪下ろしなど玄関前の除雪 2526中高11民生委員活動の周知 27中高12社会福祉協議会活動の周知	・地域での見守り・助け合い体制（互助・近助） ・小中学生による生活支援ボランティアの創出 ・生活支援（特に買い物支援）の仕組みづくり など
	・健康に対する意識を高め、健康づくり・介護予防を身近な地域で進める地域づくり。			
	・ゴミ出し、除雪、買い物、移動、通院など、日常生活の困りごとを地域で支える仕組みづくり		11-①自分や家族の老後の事 15-⑥通院などの外出の手伝い 39-⑤福祉サービスの充実	・免許返納後の移動手段の確保 ・利用しやすい公共交通 ・買い物支援の拡充（移動販売等） など
	・受け手・支え手にとられず、誰もができる範囲で支え合える地域づくり	（2）心身の健康づくりと介護予防の推進	11-①自分や家族の老後の事 39-⑦健康診査・がん検診などの健康づくりの推進 11-②自分や家族の健康の事	・介護認定を受けない人の居場所 ・相談しやすい窓口や方法（SNS等の活用） ・健康教室、地域の茶の間等の場づくり など
		（3）平時の見守り・支え合いを災害時にも生かす体制づくり 【11拡充】	11-④災害時の備えに関する事 15-①災害時の手助け	・災害時にも活生きるご近所づきあい ・要配慮者への具体的な避難支援体制の構築 など

アンケートやヒアリングをもとにして、市の総合計画にも沿った「基本的な目標」となる言葉です。

市でアンケート調査を行った時に必要性や要望の高かった項目を拾い出しています。<市が記入>
(アンケート設問番号)―(設問内の項目上位)71

住民座談会（ヒアリング）、事業所アンケートでの市民の声の代表的な部分を抜き出しています。 <社協が記入>

基本目標③（案）	概要【支える・その他】	施策の推進（案）	アンケート結果から、 取組が必要と思われる要素	住民座談会、事業所アンケートからまとめた主な取組課題
【12拡充】地域みんなで子ども・若者を育むまちづくり	・子どもや若者、子育て家庭が地域の中で孤立せず、安心して成長できる地域づくり	（1）子ども・若者・子育て家庭を地域で支える環境づくり 【13拡充・再編】	㊟子どもに関する活動への意識が高い ㊟9-㊟子どもの貧困対策 中高㊟4-㊟子どもの貧困対策	・誰もが使いやすい食を通じて交流できる施設・居場所づくり ・子育てしやすいまちづくり（制度や施設、医療等体制づくり） ・働く世帯のための未満児保育（特に1歳未満）の充実 ・特性のある子への支援（早期発見と学童保育と放課後等デイの連携等） ・住民参加による子育て支援 など
	・生活困窮世帯等の子ども・若者に対する学習・生活・進路支援の充実			
	・子どもの居場所、こども食堂、地域の見守り活動を通じた子育て支援の推進			
	・ヤングケアラー、ひとり親世帯、特性のある子どもなど、支援が届きにくい家庭への切れ目のない支援			
	・家庭支援事業、ファミリーサポートセンター、ささえあい村上等の既存資源を活用した生活支援			
基本目標④（案）	概要【交わる・護る・募る】	施策の推進（案）	アンケート結果から、 取組が必要と思われる要素	住民座談会、事業所アンケートからまとめた主な取組課題
【14修正】お互いを認め合い、誰もが安心して活躍できるまちづくり	・すべての人を受容し、互いの違いを認め合う地域共生のするまちづくり（ソーシャルインクルージョン）	（1）権利擁護と意思決定支援を進める地域づくり 【15拡充】	㊟成年後見制度の推進 ㊟市民後見人の周知	・成年後見制度の充実、市民後見人のサポート体制の構築 ・身寄りなし世帯の支え合いのしくみづくり ・若年層の障がい者の住居・就労等生活の支援 など
	・認知症や障がい、生活困窮、ひきこもり、生きづらさなどへの理解を深め、誰もが排除されない地域づくり			
	・福祉教育、ボランティア、地域活動を通じて、地域愛と担い手を育むまちづくり。			
	・高齢者や障がい者等が、支えられるだけでなく、役割を持って地域活動に参加できるまちづくり。	（2）福祉教育と相互理解の推進 【16再編】	㊟3-㊟近所への支援(何をすればよいかわからない)	・障がいや認知症などへの理解促進の啓発 ・地域共生社会への理解 ・多様性を受入れ他者を思いやれる心を育む福祉教育の展開など など
	・更生保護活動への理解を深め、再犯防止と社会復帰を地域で支えるまちづくり。【拡充17】	（3）地域福祉を支える多様な担い手の確保・育成 【16再編】	㊟7ボランティア活動への意識 ㊟8ボランティア内容の情報発信	・民生委員児童委員の人材確保（協力員制度の創設等） ・就労施設による地域支援への参画（除雪ボランティア等） ・地域福祉のリーダーとなる人材確保・育成 など
		（3）高齢者や障がい者等の社会参加と自立の促進	㊟3-㊟自分や家族の老後の事	・老人クラブ会員増強と単位クラブの存続 ・障がい者雇用の促進（就労施設～一般就労への就労支援等）、通勤（移動）手段の確保 ・低所得高齢者への援助、支援 など
		（4）更生保護活動の理解促進と再犯防止に向けた地域づくり【拡充17】	㊟29再犯防止取組の推進	・更生保護の啓発、保護司のなり手確保（行政OBなどの参画等）